

話題提供：

木村雅一

(まちづくりNPOあとち倶楽部代表)

ポスト同和対策の部落問題2

↳ 反差別運動から

市民活動への展開、

NPO法人

あとち倶楽部の挑戦

無料

7月14日 (水)
午後1時半より
経済学部棟 2階
第4会議室お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
info@rchr.osaka-cu.ac.jp

2002年3月に同和対策に関する国の法律がなくなった。しかし部落問題がなくなったわけではなく、行政施策を中心とした従来の「同和対策」にかわり、市民活動を中心とする部落問題へのとりくみが模索されている。なかでも、NPOの法人認証を受けて進める活動が増え、注目を集めつつある。大阪市内の被差別部落を拠点として活動を起こした「まちづくりNPOあとち倶楽部」は、部落解放運動の成果を受け継ぎながら、ネットワークの範囲を部落から外へと広げ、「地域の課題を地域住民の手によって解決」するあらたなまちづくり活動を提唱している。このようなあらたな活動を、NPO論、まちづくり論、そして部落解放運動論などの視点から考察する。